

資料—4

平成27年度の実施プロジェクト（案）

- 1. H27年度時点におけるプロジェクトの目標
- 2. H27年度の実施プロジェクトの計画
- 3. H27年度の実施プロジェクト（案）

平成26年12月15日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 事務局

1.H27 年度時点におけるプロジェクトの目標

(1) 目標の設定

これまでのプロジェクトの推進状況を踏まえ、平成 27 年度時点におけるプロジェクトの目標（到達点）を設定した。
また、平成 27 年度は、尾原ダム水源地域ビジョンに位置づけられている『基本方針：水源地域を結び、拓く』の充実を図るため、特に「Ⅰ 人材の活用」と「Ⅱ 組織の整備」の着実な推進に注力してく。

基本方針	平成 25 年度の実績（概要）	平成 26 年度の実績（概要）	平成 27 年度の目標（案）
水源地域を結 び、拓く	- 継続的な CSR 活動やホームページなどを用いた情報発信を実施した。 - 新たにトレイルランニングの先進事例を視察や志津見ダムポピー祭りでの特産品の販売を実施した。 - 人材の発掘やリーダーの育成に関する取組が進捗していない。	- 継続的な CSR 活動やホームページなどを用いた情報発信を実施した。 - 新たに Facebook などを活用した情報発信や案内看板の整備などを実施した。 - 人材の活用に関する取組が進捗していない。	- 新たな人材の発掘を図り、「さくらおろちを活性化する会」の組織を強化する（メンバーの増加、複数の検討部会の設置など）。 - 企業や下流域との連携を図り、活動の幅を広げる。
流域圏の恵みの源を守り、育む	- ホテルの観察会やものづくりの体験プログラムなどを継続して実施した。 - 人材不足などによる取組の休止・停滞が発生した。 - ビューポイントの発掘やクズ等の駆除などの取組が実施できなかった。	- ビューポイントを発掘するために「さくらおろち湖写真コンテスト」を企画し(平成 27 年 5 月 29 日までの期間で)募集を開始した。(実施主体として「さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会」を組織)。 - 人材不足などによる取組の休止・停滞が発生した。	取組間の連携を図り（取組の共同開催など）、スタッフの負担軽減と参加者数の増加を目指す。
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	- 新たにウォーキング大会やさくらおろち湖マラソン大会、トライアスロン練習会などを開催し、交流人口の拡大に努めた。 - ダムサミットの開催やインフラツーリズムの試行などを通して尾原ダムの魅力を発信した。	- さくらおろち湖祭りなど定番化された取組を継続して実施し、多くの参加者を獲得した。 - 新たに「日本一」プロジェクトの検討を開始するなど取組の拡大を図った。 - 平成 25 年度は実施されていた「雪体験ツアー」は実施できなかった。	- 引き続き取組の継続（定番化）と取組の組合せ、新規の取組など実施し、参加者数の増加を目指す。 - 情報発信の強化を目指す。

■プロジェクトの総括

平成 27 年度は、「早期に実施すべきプロジェクト」の最終年度であり、平成 28 年度からは「中期に実施すべきプロジェクト」を推進していくことになる。
そこで、尾原ダム水源地域ビジョンに位置づけられているプロジェクトを円滑に実施し、「中期に実施すべきプロジェクト」を推進していくために、これまで実施してきたプロジェクトの実施状況を総括し、プロジェクトの追加や休止、統合などを検討する。また、プロジェクトの推進状況を勘案し、プロジェクトの実施時期の見直しも行う。

(2) H27 年度に実施するプロジェクトの方向性

平成 27 年度の目標（案）と平成 26 年度のプロジェクトの実績、主な課題から、平成 27 年度に実施するプロジェクトの方向性と具体的な取組内容を検討した。

基本方針	大分類	H26 年度の実施実績	H26 年度プロジェクトの実施における主な課題	H27 年度プロジェクトの方向性（案）	H27 年度実施プロジェクトの具体例（案）
水源地域を結び、拓く	I 人材の活用	- 平成 20 年度から島根大学に委託し取りまとめた報告書を整理し、さくらおろちを活性化する会での検討、活用を予定している。 「接客技術の向上」が実施できていない。	- 実施計画（実施内容、実施スケジュール、実施主体）が未決定であった。 - 行政が主体となった取組のみであり、地域の活動団体の参加が不足している。	「人材の活用」は、水源地域ビジョン推進の要となるため、来年度は、実施すべき内容や実施主体を検討し、計画的に実施していく必要がある。	- 水源地域における活動団体、内容の整理 - 関係者を集めた勉強会の開催（地域ニーズの把握）
	II 組織の整備	- 国土交通省が開催した「水源地域支援ネットワーク会議」に地元団体や島根県、雲南市、奥出雲町などの関係者が参加し、先進地域のリーダーと意見交換を行った。 「先進事例の視察」として、「ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会」の実施状況を視察した。	- 主導的に実施する主体が確定していない。 - 組織の整備に向け、尾原ダム水源地域で不足しているポイントが明確になっていない。	「組織の整備」についても、継続して水源地域ビジョンを推進していくための要となるため、来年度は、実施すべき内容や実施主体を検討し、計画的に実施していく必要がある。	- さくらおろちを活性化する会の体制の強化 ⇒プロジェクトごとに作業部会（仮称）の立ち上げ ⇒さくらおろちを活性化する会への地域住民・団体の参加拡大（例えば、さくらおろちを活性化する会へテーマごとにオブザーバーとしての参加のスタイルの導入） - 水源地域支援ネットワーク会議への継続的な参加（他の水源地域で開催されるため、先進事例の視察にもつながる）
	III 企業との連携	企業と連携した除草作業やごみ拾いなどの CSR 活動を継続的に実施した。	主に除草作業やごみ拾いを実施しており、他のプログラムが不足している。	来年度も継続した活動の実施や参加企業の拡大などを図っていく必要がある。	- 除草作業やごみ拾い以外のプログラムの創出（イベントへの参加・後援） - 年間スケジュールの作成（参加しやすい環境の整備、日常的な交流の拡大）
	IV 斐伊川流域圏の連携	流域内で実施されているイベント（松江天神祭り）や、志津見ダムで実施されているイベント（ポピー祭り）に出展し、尾原ダム水源地域の魅力を発信した。	連携先が固定されている	来年度も継続した活動の実施や参加イベントの増加などを図る。	- 過去に連携していたイベントの整理（イベントへの再参加の検討） - 流域圏の活動団体の招待 - 下流域の団体との情報交換の場の設定
	V 情報発信	- 様々な媒体を用いて尾原ダム水源地域の情報を発信した。 - 平成 26 年度は国土交通省が、新規に Facebook を活用した情報発信を試行した。	- 各情報媒体間の連携が不足している。 - 尾原ダム水源地域（さくらおろち湖）の認知度を向上させていく必要がある。	来年度も様々な媒体を用い情報発信を積極的に実施する。	- 発信主体間の連携の促進 ⇒各機関が活用する媒体等の整理（活用媒体、発信内容、担当者など） ⇒情報共有の促進 ⇒リンク設定の多様化（ブログや Facebook 等へのリンク設定の依頼） - 尾原ダム水源地域を発信するためのポスターの作成 - 情報の発信方法の見直し、強化

基本方針	大分類	H26 年度の実施実績	H26 年度プロジェクトの実施における主な課題	H27 年度プロジェクトの方向性（案）	H27 年度実施プロジェクトの具体例（案）
流域圏の恵みの源を守り、育む	Ⅵ環境の保全	- 森づくりや農産物、水質などに関連するイベントの開催を通して環境の保全に向けた意識の啓発活動を実施した。 - しかし、一部の取組については、企画するスタッフの不足により今年度は実施できなかったものもあった。	スタッフ不足により、活動が停滞している取組がある。	来年度も継続した活動を実施するとともに、更なる環境の保全を目指し、関係団体が相互に連携し、スタッフが不足する取組への協力・連携を通じた取組の開催を試行する。	取組内容の再整理（実施内容、実施時期、実施主体等） ⇒連携・協力可能な取組の検討 ⇒休止イベントの再開、既存の取組への統合
	Ⅶ景観保全・整備	- 今年度は、ビューポイントの発掘・活用のための「さくらおろち湖写真コンテスト」の開催やクズ等の除草作業などを新規に実施した。 - また、サクラの植樹や植樹ゾーンを整備の検討などは継続して実施した。	行政が主体となった活動が多く、地域住民との連携が不足している。	来年度も尾原ダム水源地域の景観を保全していくための取組の継続を図る。	- ビューポイントマップ（ポスター）の作成 - さくらおろち湖写真コンテストの継続実施、審査、公表
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	Ⅷ自然環境の活用	今年度に予定されていた取組はなし。			
	Ⅸダム周辺の既存施設の活用	- 尾原ダム水源地域では、ダム本体やサイクリング施設、さくらおろち湖などの既存施設を活用し、様々な取組が継続して実施した。 - 今年度は、「日本一」プロジェクトの開催に向けた事例収集、紹介などを新たに実施した。	各取組の連携が不足している。	来年度も尾原ダム周辺の既存施設を活用した取組を継続して実施する。	取組内容の再整理（実施内容、実施時期、実施主体等） ⇒イベントカレンダー（ポスター）の作成 ⇒各取組の主催者が参画する意見交換会の場の設定
	X 歴史・文化の継承	今年度は昨年度に引き続き、尾原ダム水源地域の歴史・文化を継承、活用していくための様々な取組、イベントを開催した。	現時点で大きな課題は発生していない。	来年度も尾原ダム水源地域の歴史・文化を継承、活用していくための取組を継続して実施する。また、参加者の拡大や地域への浸透を図るための方策を検討する。	既存の取組の継続
	XⅠ新たな魅力・資源の発掘	- 地域資源である温泉を活用したイベントや、新たな観光資源として試行しているワカサギの放流など、様々なイベントを開催した。 - しかし、平成 25 年度は実施されていた「雪体験ツアー」は実施できなかった。	継続的に取組を実施しているが、実施結果が共有されていない。	来年度も尾原ダム水源地域の新たな魅力を発掘しながら、取組を継続して実施する。また、今年度実施できなかった取組の原因を把握した上で、実施の可能性を検討する。	- 既存の取組の継続 - 特産品となりえる素材の発掘（コンテストの検討、開催）
	XⅡ交流イベントの活発化	- 尾原ダム水源地域では、賑わいの創出や新たな観光客の獲得に向けて様々なイベントが継続して実施した。特に、さくらおろち湖祭りは、今年度で第 10 回を迎え、尾原ダム水源地域の目玉イベントとして認知されている。 - また、昨年度から実施されているさくらおろち湖マラソン大会やトライアスロン練習会の開催など、新たな交流イベントも継続的に実施した。	現時点で大きな課題は発生していない。	来年度も、賑わいの創出や新たな観光客の獲得に向け、イベントを継続して開催するとともに、更なる観光客の獲得に向けたイベントの改善（実施内容、開催回数など）を図る。	- 既存の取組の継続 - 取組内容の再整理（実施内容、実施時期、実施主体等） ⇒イベントカレンダー（ポスター）の作成 ⇒各取組の主催者が参画する意見交換会の場の設定 - 情報の発信方法の見直し、強化

3.H27 年度の実施プロジェクトの計画

(1) H27 年度の実施プロジェクトの計画

平成 26 年度に実施した取組は、プロジェクト数が 35 件、取組事項数が 80 件であった。平成 27 年度に実施する取組は、プロジェクト数が 40 件、取組事項数が 83 件と平成 26 年度と比較して増加する。

基本方針	平成 26 年度実績			平成 27 年度計画
	実施プロジェクト数（実施取組事項数/未実施取組事項数）	未実施プロジェクト数（取組事項数）	合計	実施プロジェクト数（取組事項数）
水源地域を結び、拓く	5（11/1）	1（1）	6（13）	6（12）
流域圏の恵みの源を守り、育む	8（18/0）	0（0）	8（18）	10（17）
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	22（51/4）	0（0）	22（55）	24（54）
合計	35（80/5）	1（1）	36（86）	40（83）

(2) H27 年度に新規に実施する取組

平成 27 年度では、早期プロジェクトとして位置づけられている 5 件の取組内容を新規で実施する。（参考資料：プロジェクトの体系図・プロジェクトの着手時期を 11 ページに添付）

基本方針	プロジェクト	取組内容	実施主体（案）	具体的な実施内容（案）	実施年（案）		実施主体（案）				
					H27	H28～	会	市	町	県	国
水源地域を結び、拓く	(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上	・接客セミナーや研修等を実施することにより観光客への接客マナーの向上に努め、観光の担い手を育成します。	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・接客する人の勉強会の開催（ニーズの把握）	○		○	○	○	○	○
				・既存研修会等の事例の整理	○			○	○	○	○
				・研修会等への参加（助成制度）	○			○	○		
流域圏の恵みの源を守り、育む	(7)-1 水質の保全	・水質の保全を図るため、家庭から出る廃食油の回収・リサイクルなどを推進します。	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・既存資料/事例の整理/計画の検討	○			○	○	○	○
				・モデル地区の抽出、設定	○		○	○	○		
				・モデル地区での試行		○	○	○	○		
				・先進地域への研修（講師の招聘）		○		○	○		
	(11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）	・水源地域内の耕作放棄地を減少させ、農村景観を改善していくために、ミックスフラワー等を栽培します。 ※試行段階では、ミックスフラワー以外でも農村景観の保全に係る活動を試行する。	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・既存資料/事例の整理/計画の検討	○			○	○	○	○
				・モデル地区の抽出、設定	○		○	○	○		
				・モデル地区での試行※		○	○	○	○		
				・ミックスフラワー等の実施		○	○				
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	(12)-1 森林の利用促進（森林セラピー・森のようちえん）	・水源地域の森林環境を、心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の場として活用します。さらに、森の香りや空気の清浄さ、美しい色彩や景観などが人の生理に及ぼす効果について、医学的に検証された「森林セラピー基地」となるよう水源林を整備します。 ・自然環境の中での幼児教育や、幼児を対象とした自然体験活動などを実施する「森のようちえん」を推進します。	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・既存資料/事例の整理/計画の検討	○			○	○	○	○
				・モデル地区の検討（例：岩伏山、岩内山、船通山など）		○	○	○	○		
				・先進地域への研修（講師の招聘）		○	○	○	○		
				・森林セラピー基地や森のようちえんの試行		○	○	○	○	○	○
	(15)-2 さくらおろち湖の魅力発信	・様々な角度からさくらおろち湖の魅力を発信するために、ダム湖の形状クイズなどを実施します。	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・さくらおろち湖を利用したイベント等の検討（さくらおろち湖の認知度向上）	○		○	○	○	○	○

※「(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上」については、平成 26 年度に実施されなかったため新規に実施する取組として表現
会：さくらおろちを活性化する会

4.H27 年度の実施プロジェクト（案）

平成 27 年度に実施するプロジェクトの状況を踏まえ、「H27 年度の実施プロジェクト（案）」を整理した（P.5～）。

H27 年度の実施プロジェクト（案）

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定			
						取組内容		実施主体	取組内容		実施主体	実施内容（案）		実施主体	分類
水源地域を結び、拓く	Ⅰ 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用	早期（先行）	①技術や知識、知恵を持った人の発掘	×			○	・既存資料の整理（予定）	さくらおろちを活性化する会	・既存資料の整理	さくらおろちを活性化する会	継続	
			(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上	早期		×			×		・接客する人の「勉強会」の開催（二ーズの把握） ・既存研修会等の事例の整理	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	新規		
			(1)-3 教育機関（大学等）との連携	早期（先行）	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発										
	Ⅱ 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 リーダーの育成	早期（先行）	①リーダーを対象とした講習会の開催				○	・「水源地域支援ネットワーク会議」に参加し情報交換	NPO 法人さくらおろち、NPO 法人奥出雲布勢の郷、とんぼの会、雲南市、奥出雲町、島根県 等	・「水源地域支援ネットワーク会議」に参加し情報交換	NPO 法人さくらおろち、NPO 法人奥出雲布勢の郷、とんぼの会、雲南市、奥出雲町、島根県 等	継続	
					③先進事例の視察	○	・「広島県土師ダム」へダム周辺施設活用状況の視察 ・広島市安佐北区へ「あさきたトレイルランニング」の実施状況の視察	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	○	・「ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会」の実施状況を視察	雲南市、奥出雲町	・各種大会、イベントの実施状況の視察	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、雲南市、奥出雲町	継続	
	Ⅲ 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）	早期（先行）	①連携企業の募集	○	・「企業CSR活動」の募集	NPO 法人さくらおろち	○	・道路沿線の除草、ごみ拾い	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会主催、雲南市・奥出雲町共催	・道路沿線の除草、ごみ拾い	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会主催、雲南市・奥出雲町共催	継続	
					②実施プログラムの作成	○	・「企業CSR活動」の実施	NPO 法人さくらおろち	○	・道路沿線の除草、ごみ拾い	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会主催、雲南市・奥出雲町共催	・道路沿線の除草、ごみ拾い	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会主催、雲南市・奥出雲町共催	継続	
					③CSR 活動の実施	○	・活動への職員参加 ・「森と湖に親しむ旬間イベント」に合わせた環境美化活動 ・NPO 法人さくらおろちの募集による「企業 CSR 活動」	雲南市、奥出雲町	○	・「企業CSR活動」の実施	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	・「企業CSR活動」の実施	雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	継続	
	Ⅳ 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援	中期											
			(4)-2 流域圏の連携	早期（先行）	①流域内で実施されている活動や団体との連携	○	・「大橋川改修工事に係る団体」との連携（ダム湖祭りへの招待など）	国土交通省	○	・松江天神祭での「雲南広場」の出展（尾原ダム上流部からの出展参加）	雲南市、奥出雲町	・松江天神祭での「雲南広場」の出展（尾原ダム上流部からの出展参加）	雲南市、奥出雲町	継続	
					②志津見ダム水源地域で活動されている団体との連携	○	・「志津見ダムポピー祭り」での特産品の販売	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	○	・「ポピー祭り」での活動紹介	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	・「ポピー祭り」での活動紹介	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	継続	
	Ⅴ 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識）	早期（先行）	①水源地域の情報を発信するホームページの運用		・「斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト（水の縁による新たな出雲の国づくり）」の運用開始 ・「さくらおろち湖周辺を 100% 楽しむサイト」の運用	斐伊川・神戸川ダム対策協議会、NPO 法人さくらおろち	○	・「斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト」の運用、ダム湖周辺でのイベント行事を情報発信、「さくらおろち湖周辺を 100%楽しむサイト」の運用	斐伊川・神戸川ダム対策協議会、NPO 法人さくらおろち	・「斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト」の運用、ダム湖周辺でのイベント行事を情報発信、「さくらおろち湖周辺を 100%楽しむサイト」の運用	斐伊川・神戸川ダム対策協議会、NPO 法人さくらおろち	継続	
					②水源地域に関する情報の積極的な発信	○	・「ホームページ、尾原ダム便り、広報誌等」での情報発信 ・企業CSR、トレランなどの模様を「CATV放映」 ・行事開催を「有線放送」で予告 ・「Facebook や Twitter」を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	○	・「ホームページ・尾原ダム便り・広報誌等」での情報発信、企業CSRやトレランなどの模様を「CATV放映」、行事開催を「有線放送」で予告、「Facebook や Twitter」を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち、温泉地区地域自主組織 ダム湖の郷、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・「ホームページ・尾原ダム便り・広報誌等」での情報発信、企業CSRやトレランなどの模様を「CATV放映」、行事開催を「有線放送」で予告、「Facebook や Twitter」を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち、温泉地区地域自主組織 ダム湖の郷、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	継続	
					③尾原ダム周辺の案内標識の整備	○	・ダム直近の国道314沿線上での「案内標識」の整備	島根県	○	・「イベント案内表示板」の設置、尾原ダムへの「道路標識」の設置、「ポスター」の作成・掲示	雲南市、奥出雲町、島根県、さくらおろちを活性化する会	・「イベント案内表示板」の設置、尾原ダムへの「道路標識」の設置、「ポスター」の作成・掲示	雲南市、奥出雲町、島根県、さくらおろちを活性化する会	継続	
				(5)-2 フィルム・コミッションの推進	中期										

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定		
						取組内容	実施主体		取組内容	実施主体		実施内容（案）	実施主体	分類
流域圏の恵みの源を守り、育む	Ⅵ 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理	早期（先行）	③竹林や林地残材のチップ化の推進	○	・水の縁推進事業として、NPOを受託者とした「環境・景観保全」の実施	NPO法人さくらおろち	○	・「みーもの森づくり事業」の推進	NPO法人さくらおろち	・「みーもの森づくり事業」の推進	NPO法人さくらおろち	継続
					④さくらおろち湖内の竹林等の管理	○	・「森の観察会・農業体験（小学生向け）」の実施	NPO法人さくらおろち	○	・「森の観察会（2回）」や「農業体験（2回）」の実施	NPO法人さくらおろち、農事組合法人槻之屋ヒーリング			未定
			(6)-2 ボランティア活動の実施	中期										
		(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全	早期								・既存資料/事例の整理/計画の検討 ・モデル地区の抽出、設定	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	新規
				中期										
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）	早期（先行）	①三沢川の清掃活動	○	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による活動 ・草刈りなどの周辺整備	原田自治会、とんぼの会	○	・草刈りなどの周辺整備	原田自治会	・草刈りなどの周辺整備	原田自治会	継続
					②カワニナの放流活動の実施	○	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル復活プロジェクト」の実施 ・「ホタル祭り」の実施 ・消灯の取組（街灯のタイマー設置や川沿い家屋の協力） ・看板の設置	原田自治会	○	・「ホタル祭り」の開催	原田自治会	・「ホタル祭り」の開催	原田自治会	継続
					③河岸のキシツツジなどの保全活動の実施	○	・希少なキシツツジを挿木で植樹 ・「自転車競技施設の法面」に植樹（2千本） ・希望者への「苗木の配付」 ・植樹後の管理（施肥、草刈等）	個人、奥出雲町	○	・堤防の管理にあわせた「除草作業」の実施	国土交通省	・堤防の管理にあわせた「除草作業」の実施	国土交通省	継続
			(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	早期（先行）	①外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知	○	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	○	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル）	早期（先行）	①河川や森林への感心を促す「環境学習会」の開催	○	・布勢小学校児童による環境学習会「森の健康診断」の実施 ・「人工林の間伐体験」、「原木シイタケの植菌体験」の実施	NPO法人さくらおろち	○	・「山の木を宝に変える」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県			未定
					②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用		・地元小学校による尾原ダム周辺での「写生大会」の開催 ・「田舎体験ツーリズム」の検討（定住目的の体験ツアー実施）	NPO法人さくらおろち	○	・「山の木を宝に変える」の開催 ・「日帰りモニターツアー」や「1泊モニターツアー」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県、さくらおろち田舎ツーリズム協議会	・「日帰りモニターツアー」や「1泊モニターツアー」の開催	さくらおろち田舎ツーリズム協議会	継続
					④ホタルの観察会の開催	○	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施（対象は地域住民）	原田自治会	○	・「ホタル観賞会」の開催	原田自治会	・「ホタル観賞会」の開催	原田自治会	継続
					⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催	○	・「ホタルの生息環境と水質の関係の学習会」の開催	三沢小学校	○	・「水質調査」の実施	三沢小学校	・「水質調査」の実施	三沢小学校	継続
					布勢っ子河太郎日記の開催	○	・八代川の水質調査や生き物調べ（春秋）、河川清掃、「オオサンショウウオ」の生態調査	布勢公民館	○	・八代川の水質調査や生き物調べ（春秋）、河川清掃、「オオサンショウウオ」の生態調査	布勢公民館	・八代川の水質調査や生き物調べ（春秋）、河川清掃、「オオサンショウウオ」の生態調査	布勢公民館	継続
			(9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）	早期（先行）	①ものづくりの体験プログラムの企画・実施	○	・竹筒を使用した「ものづくり体験プログラム」の実施 ・造林地の葛を活用した「リースづくり」の実施	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	○	・「竹やぶ退治で竹と仲良く」の開催 ・「里山素材でリースづくり」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県			未定
					②合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施	×								
					③休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施	×								
					④「柿採りと干し柿づくり」の開催	○	・「体験イベント」の実施 ・「柿園」の維持管理	NPO 法人さくらおろち、とんぼの会	○	・「柿をめぐる男たちのロマン」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県	・「柿をめぐる男たちのロマン」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県	継続

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定		
						取組内容		実施主体	取組内容		実施主体	実施内容（案）		実施主体
流域圏の恵みの源を守り、育む	Ⅶ 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺の水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）	早期（先行）	①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘	×			○	・「さくらおろち湖写真コンテスト」の開催、募集	さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会	・「さくらおろち湖写真コンテスト」の開催	さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会	継続
					②ビューポイントの設置（看板の設置など）	×								
			(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除	早期（先行）	②クズ等の駆除や有効活用策の検討	×			○	・自転車競技コースの草刈りに併せた「クズの除草作業」の実施 ・事例収集	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	・「駆除や有効活用策」の検討	さくらおろちを活性化する会	継続
					道路周辺の景観保全		・周辺の除草作業の実施 ・「景観作物(そば、菜の花など)」の栽培	○	・周辺の除草作業の実施 ・「景観作物(そば、菜の花など)」の栽培	NPO法人ふる里雲南、木次乳業(有)、ダムの見える牧場、いずも八山椒(有)、雲南花舞台を実現する会、温泉地区地域自主組織ダム湖の、斐伊地域づくり協議会	・周辺の除草作業の実施 ・「景観作物(そば、菜の花など)」の栽培	NPO法人ふる里雲南、木次乳業(有)、ダムの見える牧場、いずも八山椒(有)、雲南花舞台を実現する会、温泉地区地域自主組織ダム湖の、斐伊地域づくり協議会	継続	
			(10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）	早期（先行）	①サクラやモミジの計画に沿った植樹	○	・艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画 ・「みーもの森づくり」としてサクラの植樹を実施 ・平田地区河岸への桜の植樹	○	・艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画 ・「みーもの森づくり」として新植を10a、下刈りを2箇所実施 ・平田地区河岸の桜の管理・草刈	雲南市、奥出雲町、雲南市さくらの会、大原森林組合、NPO法人さくらおろち、平田を育てる会	・新植や下刈りの実施 ・平田地区河岸の桜の管理・草刈	雲南市、奥出雲町、雲南市さくらの会、大原森林組合 NPO法人さくらおろち、平田を育てる会	継続	
					④さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化			○	・植栽計画に基づく、植樹（市道北原日登線沿線）を計画 ・植栽した箇所の除草管理の実施 ・ダムサイト左岸広場の整備検討	雲南市、奥出雲町、国土交通省	・ダムサイト左岸広場の整備検討	国土交通省	継続	
		(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり	中期										
			(11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）	早期							・既存資料/事例の整理/計画の検討 ・モデル地区の抽出、設定	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	新規	
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	Ⅷ 自然環境の活用	(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進(森林セラピー・森のようちえん)	早期							・既存資料/事例の整理/計画の検討	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	新規	
	Ⅸ ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）	早期（先行）	①尾原ダムの魅力の発掘と発信	○	・各種イベントの情報を職員掲示板に掲載	島根県	○	・各種イベントの情報収集・情報発信	島根県	・各種イベントの情報収集・情報発信	島根県	継続
					②ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施	○	・「クレスト放流」の実施	国土交通省	○	・「クレスト放流」の実施（予定）	国土交通省	・クレスト放流の実施	国土交通省	継続
					③ダム施設の見学ツアーの開催	○	・各種イベントに併せた「見学会」の実施	国土交通省	○	・ダム堤体内の一般開放	国土交通省	・ダム堤体内の一般開放	国土交通省	継続
					④尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信	○	・「Dam サミット in 尾原ダム」の開催 ・「インフラツーリズム」の試験的实施	国土交通省	○	・「インフラツーリズム」の実施	国土交通省	・「インフラツーリズム」の実施	国土交通省	継続
(13)-2 日本プロジェクト	早期（先行）	①「日本一」プロジェクトの企画・実施				○	事例収集（一部実施）	国土交通省	・「日本一」プロジェクトの企画	さくらおろちを活性化する会	継続			

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定		
						取組内容	実施主体		取組内容	実施主体		実施内容（案）	実施主体	分類
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	X 周囲の既存施設の活用	(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（サイクリングイベント、認定コース、ショートコース）	早期（先行）	①認定コースの発信	○	・「自転車競技施設」の維持管理 ・「ロードレース中国大会」でのPR ・「奥出雲サイクリング」でのPR	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	○	・施設運営、植栽（川ツツジ）等の維持管理 ・公認大会開催前にPRを実施	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	・施設運営、植栽（川ツツジ）等の維持管理 ・公認大会開催前にPRを実施	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	継続
					②サイクリングコースのPR	○	・「自転車競技コース」の整備 ・「ロードレース中国大会」でのPR ・「奥出雲サイクリング」でのPR	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	○	・施設運営、植栽（川ツツジ）等の維持管理 ・公認大会開催前にPRを実施	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	・施設運営、植栽（川ツツジ）等の維持管理 ・公認大会開催前にPRを実施	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	継続
					④サイクリング大会の継続・発展	○	・「奥出雲サイクリング」の実施 ・「仁多米、仁多牛」のPRや「温泉施設」との連携 ・「中四国ブロックサイクリング大会の実施」（一昨年） ・市町村各支部により、様々な「サイクリングイベント」の開催 ・県の協会は各市町村の協会支部の支援	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会（サイクリング協会市町村各支部）	○	・「2014 奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会（サイクリング協会市町村各支部）	・「2015 奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会（サイクリング協会市町村各支部）	継続
					⑤MTB や BMX 大会の実施	○	・「シクロクロス大会」の実施 ・「各種ロードレース大会」の開催（中国地域自転車道路競走大会、国体予選、定期大会等） ・MTB は来年3月開催に向けて計画中(出雲路センチュリーライド)	島根県自転車競技連盟	○	・「シクロス大会」の開催	島根県自転車競技連盟	・「シクロス大会」の開催	島根県自転車競技連盟	継続
					⑥子供サイクリング教室などの企画	○	・シクロクロス大会の一環で「子ども向け大会」の開催 ・「おはようサイクリング（子ども向けイベント）」の開催	島根県自転車競技連盟、島根県サイクリング協会	○	・「ストライダー大会」の企画、検討	株式会社 キラキラ雲南	・「ストライダー大会」の企画、検討	株式会社 キラキラ雲南	継続
			(14)-2 レンタサイクルの実施	早期（先行）	①レンタサイクルの実施	○	・佐白温泉長者の湯での「レンタサイクル」運用開始	奥出雲町	○	・サイクルポートでの自転車レンタルの一部実施	奥出雲町、奥出雲サイクリングターミナル、佐白温泉「長者の湯」	・レンタサイクルの実施（利用者の拡大）	奥出雲町、奥出雲サイクリングターミナル、佐白温泉「長者の湯」	継続
			(14)-3 サイクリングコースの改善	後期										
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進（ポート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験）	早期（先行）	①湖面利用の活発化、検討	○	・「ポート競技施設」の運営・維持管理	島根県	○	・「ポート競技施設」の運営・維持管理	島根県	・「ポート競技施設」の運営・維持管理	島根県	継続
					③レガッタ大会やポート競技大会の誘致	○	・「ポート競技コース」の整備 ・「レガッタ大会」の開催（定例県大会、中国大会（中国高校選手権、国体中国予選、高校選抜予選）、強化練習会） ・「県外チーム」の招聘	島根県、斐伊川さくらポート協会、島根県ポート協会	○	・「ポートコース」の改修検討	島根県	・「ポートコース」の改修	島根県	継続
					④子供向けのポート教室の実施	○	・「子ども向け教室」の開催	斐伊川さくらポート協会	○	・「シーカヤック体験会」、「レガッタ体験会」の開催	しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらポート協会	・「シーカヤック体験会」、「レガッタ体験会」の開催	しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらポート協会	継続
					⑤流域住民を対象とした体験教室の開催	○	・「市民レガッタ」の実施 ・「住民向け体験イベント」の開催（ガッショ祭りでのローイングマシンによる競争イベント等）	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらポート協会	○	・「シーカヤック体験会」、「レガッタ体験会」の開催	しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらポート協会	・「体験教室」の開催	しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらポート協会	継続
					ポート競技者の合宿	○	・雲南市尾原地域づくり支援センターを活用した「ポート競技施設利用者による合宿」の誘致	尾原自治会	○	・雲南市尾原地域づくり支援センターを活用した「ポート競技施設利用者による合宿」の誘致	尾原自治会	・雲南市尾原地域づくり支援センターを活用した「ポート競技施設利用者による合宿」の誘致	尾原自治会	継続
					湖面を活用した体験活動	○	・「H25 年度 おろちっ☆尾原ダムアドベンチャーワールド」の開催	(株)キラキラ雲南	○	・「H26 年度 おろちっ☆尾原ダムアドベンチャーワールド」の開催	(株)キラキラ雲南	・「H27 年度 おろちっ☆尾原ダムアドベンチャーワールド」の開催	(株)キラキラ雲南	継続
					ポート競技大会の開催	○	・「第2回さくらおろち湖お花見レガッタ」の開催	斐伊川さくらポート協会	○	・「第3回さくらおろち湖お花見レガッタ」の開催	斐伊川さくらポート協会	・「第4回さくらおろち湖お花見レガッタ」の開催	斐伊川さくらポート協会	継続
			(15)-2 さくらおろち湖の魅力発信	早期								・さくらおろち湖を利用したイベント等の検討（さくらおろち湖の認知度向上）	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	新規
			(15)-3 釣り利用（PR・大会・施設設備）	早期（先行）		×								

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定		
						取組内容		実施主体	取組内容		実施主体	実施内容（案）		実施主体
さくらおろちの魅力 を磨き、活かす	Ⅸダム周辺の 既存施設 の活用	(15) さくらおろち湖の活用	(15)-4 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）	早期（先行）	①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定	○	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	○	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続
					②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施	○	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	○	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）	早期（先行）	①土曜・日曜・祝日における施設の開放	○	・土日、祝日に「トイレ施設」の開放	島根県	○	・土日、祝日に「トイレ施設」を解放	島根県	・土日、祝日に「トイレ施設」を解放	島根県	継続
					②音楽イベントの開催	△	・「第2回雲南ロックフェスティバル」の開催（台風接近により中止）	NPO法人さくらおろち	×			・「さくらおろち湖ロックフェスティバル」の開催	さくらおろち湖ロックフェスティバル実行委員会	新規
					奥出雲サイクリングの開催	○	・「2013 奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会青年部	○	・「2014 奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会（サイクリング協会市町村各支部）	・「2015 奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会（サイクリング協会市町村各支部）	継続
					自転車部の合宿利用				○	・岐阜第一高校自転車部合宿での利用	奥出雲多根自然博物館	・高校自転車部合宿での利用	奥出雲多根自然博物館	継続
		(16)-2 農村体験施設の利用促進	早期（先行）	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催	○	・水源地域環境活動推進業務委託	NPO法人さくらおろち	○	・「日帰りモニターツアー」、「1泊モニターツアー」の実施	さくらおろち田舎ツーリズム協議会	・「日帰りモニターツアー」、「1泊モニターツアー」の実施	さくらおろち田舎ツーリズム協議会	継続	
		(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進	早期（先行）	①下布施ホースセラピー施設の活用				○	・さくらおろち牧場の運営	(株)雲南 TRC	・さくらおろち牧場の運営	(株)雲南 TRC	継続	
				②農地と連携した体験プログラムの企画	×			×			・農地と連携した「体験プログラム」の企画	(株)雲南 TRC、農事組合法人槻之屋ヒーリング、(有)田井産業	新規	
		(16)-4 街道・登山道活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）	早期（先行）	①小中学生（スポーツ少年団）による登山企画の実施	○	・「小中学生による登山」の実施	小学校	×						未定
				②殿様街道の保全活動やイベントなどの実施	○	・「殿様街道を歩く勉強会」の開催	とんぼの会	○	・「殿様街道を歩く勉強会」の開催（予定）	とんぼの会				未定
				③トレイルランニング大会の継続	○	・「第1回トレイルランニング大会」の開催	さくらおろち湖トレイルランニング実行委員会	○	・「第2回トレイルランニング大会」の開催	さくらおろち湖トレイルランニング実行委員会	・「第3回トレイルランニング大会」の開催（H27.4.26）	さくらおろち湖トレイルランニング実行委員会	継続	
				尾白山方残土処理場の活用				○	・牛の放牧を活用した「ふれあい体験」や「牧場見学会」の実施	ダムの見える牧場、木次乳業(有)	・牛の放牧を活用した「ふれあい体験」や「牧場見学会」の実施	ダムの見える牧場、木次乳業(有)	継続	
				道の駅おろちの里で青空野菜市の開催	○	・「青空野菜市」の開催（5回）	温泉地区地域自主組織ダム湖の郷	○	・「青空野菜市」の開催（5回）	温泉地区地域自主組織ダム湖の郷	・「青空野菜市」の開催	温泉地区地域自主組織ダム湖の郷	継続	
				尾原地域づくり支援センターの活用				○	「米子南高校ポート部合宿（5月5日～5月6日）他、31件の利用	尾原自治会	・合宿等の誘致	尾原自治会	継続	
				(16)-5 新たな活用策の検討（星空観察会、ドックラン等）	中期									
		Ⅹ歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアー）	早期（先行）	①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画	○	・「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅（スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス）」の開催	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会	○	・「うんなんヤマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村	・「うんなんヤマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村
	斐伊川夕刻かがり火舞の企画					○	・さくらおろち湖岸で神楽を中心とした「交流イベント」の開催	斐伊川夕刻かがり火舞実行委員会	△	・さくらおろち湖岸で神楽を中心とした「交流イベント」の企画（台風接近のため中止）	斐伊川夕刻かがり火舞実行委員会	・さくらおろち湖岸で神楽を中心とした「交流イベント」の開催	斐伊川夕刻かがり火舞実行委員会	継続
	(18) 郷土料理の継承・活用		(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）	早期（先行）	①地域に伝承されている「食」の掘り起こし	○	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語（年4回）の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	○	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾パートⅣ」の開催（6回シリーズ）	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	継続
					②郷土料理の講座の開催	○	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語（年4回）の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	○	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾パートⅣ」の開催（6回シリーズ）	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	継続
			(18)-2 モニターツアーの開催	早期（先行）	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催	○	・奥出雲町産の食材を使用している松江市内の古民家レストラン「かんでら山」のお客さんを「水源地域に招くツアー」の開催	NPO法人さくらおろち	○	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾パートⅣ」の開催（6回シリーズ）	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾」の開催	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	継続
					②奥出雲のオーガニック料理教室	○	・「料理教室（地元の安全・安心な食の提供とPR）」の開催 ・農産物の「産直販売」	奥出雲多根自然博物館、NPO法人奥出雲布勢の郷	○	・「オーガニック料理教室」の開催 ・産直販売のための「生産委託」の拡大	奥出雲多根自然博物館、NPO法人奥出雲布勢の郷	・「オーガニック料理教室」の開催 ・産直販売のための「生産委託」の拡大	奥出雲多根自然博物館、NPO法人奥出雲布勢の郷	継続

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	取組時期	取組事項	H25 年度実施状況			H26 年度実施状況			H27 年度実施予定		
						取組内容	実施主体		取組内容	実施主体		実施内容（案）	実施主体	分類
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	Ⅹ歴史・文化の継承 Ⅺ新たな魅力・資源の発掘	(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	早期（先行）	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設 みざわの館」の活用	○ ・「田舎体験ツアーの宿泊地」として活用 ・「レストラン」の運営 ・「体験イベント」の実施 ・「独居老人の昼食会」の開催 ・「名月鑑賞会」の開催	奥出雲町、とんぼの会	○	・「田舎暮らし体験ツアー」で施設を利用 ・「独居老人の昼食会」の開催 ・「名月鑑賞会」の開催	NPO 法人さくらおろち、とんぼの会		・「名月鑑賞会」の開催	とんぼの会	継続
		Ⅺ新たな魅力・資源の発掘	(20) 地域の魅力・資源の発掘・活用	早期（先行）	①温泉スタンプラリーの企画・実施	○ ・「うんなん湯たんぶうラリー」の実施	雲南広域連合	○	・「うんなん湯たんぶうラリー」の実施	雲南広域連合		・「うんなん湯たんぶうラリー」の実施	雲南広域連合	継続
					②世代間交流イベントの実施	○ ・「論語塾」の開催 ・地域づくりや環境活動の「講演会」の開催 ・「健康ウォーキング」の開催	NPO 法人奥出雲布勢の郷	○	・世代間交流イベントの開催（「論語塾」の開催、「地域づくりや環境活動の講演会」の開催、『納涼七夕祭 in 佐白温泉「長者の湯」』の開催）	NPO 法人奥出雲布勢の郷		・世代間交流イベントの開催	NPO 法人奥出雲布勢の郷	継続
			(20)-2 観光資源の再整理	早期（先行）	②地域全体として魅力の発信	○ ・「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅（スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス）」の開催	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会	○	・「うんなんヤマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村		・「うんなんヤマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村	継続
			(20)-3 地域体感ツアーの開催	早期（先行）	①地域体感ツアーの企画・開催	○ ・「地域の魅力を体験できるツアー」の開催（夏と冬）	NPO 法人さくらおろち	○	・「地域体感ツアー」の企画・開催（夏・冬）	NPO 法人さくらおろち		・「地域体感ツアー」の企画・開催	NPO 法人さくらおろち	継続
					②雪かきなどの雪体験ツアーの開催	○ ・地域体感ツアーの一環として「雪かきや生活体験」の実施	NPO 法人さくらおろち	×						未定
					③温泉や宿泊施設などとの連携	○ ・地域体感ツアーにおいて「温泉や宿泊施設」の活用	NPO 法人さくらおろち	○	・奥出雲多根自然博物館の宿泊者に対し「温泉利用」を実施 ・イベント開催時に「無料券」を配布	奥出雲多根自然博物館、佐白温泉長者の湯		・奥出雲多根自然博物館の宿泊者に対し「温泉利用」を実施 ・イベント開催時に「無料券」を配布	奥出雲多根自然博物館、佐白温泉長者の湯	継続
		(21) 漁業資源の育成と活用	(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）	早期（先行）	①ワカサギの放流	○ ・「ワカサギの卵」の取付や生息調査	NPO 法人さくらおろち	○	・斐伊川漁協にて「ワカサギの放流」を実施	斐伊川漁協、雲南市斐伊川神戸川治水問題協議会		・斐伊川漁協と連携してワカサギの放流を実施	斐伊川漁協、雲南市斐伊川神戸川治水問題協議会	継続
					②冬季の観光資源としての活用	×		○	・斐伊川漁協にて「ワカサギの放流」を実施	斐伊川漁協、雲南市斐伊川神戸川治水問題協議会		・斐伊川漁協と連携してワカサギの放流を実施	斐伊川漁協、雲南市斐伊川神戸川治水問題協議会	継続
		(22) 特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進	早期（先行）	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発	○ ・かぼちゃの特産品化（コリンキー、栗まさる、ロロン、かち割りかぼちゃの4品種） ・食用ホオズキの特産品化	NPO 法人ふる里雲南	○	・特産品（食用ほうすき、ヤーコンなど）の栽培・道の駅での販売 ・「オーガニック料理教室」の開催	NPO 法人ふる里雲南、NPO 法人奥出雲布勢の郷		・特産品（食用ほうすき、ヤーコンなど）の栽培・道の駅での販売 ・「オーガニック料理教室」の開催	NPO 法人ふる里雲南、NPO 法人奥出雲布勢の郷	継続
	Ⅺ交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催	早期（先行）	①「さくらおろち湖祭り」の開催	○ ・「第 9 回さくらおろち湖祭り」の開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	○	・「第 10 回さくらおろち湖祭り」の開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		・「第 11 回さくらおろち湖祭り」の開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	継続
					②実施プログラムの発展	○ ・「実施プログラム」の見直し	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	○	・「熱田修二・白築準ライブ」、「松江シティ FC サッカー交流会」の開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		・「実施プログラム」の見直し	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	継続
			(23)-2 そば打ち交流会の開催	早期（先行）	①「そば打ち交流会」の継続	○ ・「そば打ち交流会」の開催	雲南市、奥出雲町	○	・松江市民・出雲市民との「そば打ち交流会」の開催	雲南市（ダム湖の郷）、奥出雲町（NPO）		・松江市民・出雲市民との「そば打ち交流会」の開催	雲南市（ダム湖の郷）、奥出雲町（NPO）	継続
			(23)-3 イベントの企画・立案	早期（先行）	①尾原ダムを念頭においたイベントの企画・立案	○ ・「第 1 回ウォーキング大会」の実施 ・「第 1 回さくらおろち湖マラソン大会」の実施	雲南市ウォーキング協会、さくらおろち湖マラソン大会実行委員会	○	・「第 2 回ウォーキング大会」の実施 ・「さくらおろち湖マラソン大会」の実施 ・「Okutabi むふふオータム」の開催	さくらおろち湖ウォーク大会実行委員会、さくらおろち湖マラソン大会実行委員会、おくいずも女子旅つくる！委員会		・「第 3 回ウォーキング大会」の実施 ・「さくらおろち湖マラソン大会」の実施 ・「Okutabi むふふオータム」の開催	さくらおろち湖ウォーク大会実行委員会、さくらおろち湖マラソン大会実行委員会、おくいずも女子旅つくる！委員会	継続
					②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	×		○	・「第 10 回さくらおろち湖祭り」の開催 ・「ポート・シーカヤック体験」の実施 ・ダム堤体内の一般開放	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会、しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらポート協会、国土交通省		・ダム堤体内の一般開放	国土交通省	継続
					④トライアスロン大会の企画	○ ・「トライアスロン練習会」の開催	島根県トライアスロン協会、雲南市、奥出雲町	○	・「トライアスロン練習会」の開催	島根県トライアスロン協会、雲南市、奥出雲町		・「トライアスロン練習会」の開催	島根県トライアスロン協会、雲南市、奥出雲町	継続

参考資料：プロジェクトの体系図

基本方針	大分類	プロジェクトの分類 (23分類)	プロジェクト (49プロジェクト)	取組状況 [※]	総取組事項数	1年目に取組の事項数 (先行実施する取組数)
水源地域を 結び、拓く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用 (1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上 (1)-3 教育機関（大学等）との連携	【新規】 【新規】 【新規】	2 1 2	1 - 1
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 リーダーの育成	【新規】	3	2
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR活動）	【既存】	3	3
	IV 斐伊川流域圏 の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援 (4)-2 流域圏の連携	【新規】 【新規】	1 3	- 2
	V 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、 カレンダー、案内標識） (5)-2 フィルム・コミッションの推進	【新規】 【新規】	3 1	3 -
流域圏の恵みの 源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理 (6)-2 ボランティア活動の実施	【新規】 【新規】	4 3	2 -
		(7) 河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全 (7)-2 ビオトープの整備	【新規】 【新規】	1 1	- -
		(8) 生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	【新規】 【新規】	5 3	4 1
		(9) 環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催 （森林、水質・水生生物、ホタル） (9)-2 体験プログラムの企画・開催 （間伐・農業体験）	【既存】 【既存】	5 4	4 4
		(10) ダム湖周辺や水辺の景 観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用 （フォトコンテスト、のぼり） (10)-2 クズやカスラ等の対策・駆除 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）	【新規】 【新規】 【新規】	3 3 4	2 1 2
	VII 景観保全・整 備	(11) 農村や周辺の景観の保 全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり (11)-2 農村景観の向上（ミックスフラワー）	【新規】 【新規】	2 1	- -
		(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進 （森林セラピー・森のようちえん）	【新規】	2	-
		(13) ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトア ップ、クレスト放流等） (13)-2 日本プロジェクト	【新規】 【新規】	5 2	4 2
		(14) サイクリング施設の活 用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR （サイクリングイベント、認定 コース、ショートコース） (14)-2 レンタサイクルの実施 (14)-3 サイクリングコースの改善	【新規】 【新規】 【新規】	6 1 1	5 1 -
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進（ボート大会、 水陸両用バス、シーカヤック、 巡視体験） (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信 (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備） (15)-4 利用ルールの策定・周知（湖面 利用の手引き等）	【新規】 【新規】 【新規】 【既存】	5 1 3 2	4 - 1 2
さくらおろちの 魅力を磨き、活 かす	VIII 自然環境の活 用	(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設（多目的広場） の利用促進（音楽イベント等） (16)-2 農村体験施設の利用促進 (16)-3 下布施ホースセラピー施設の利 用促進 (16)-4 街道・登山道の活用（トレイルラ ンニング、殿様街道、岩伏山） (16)-5 新たな活用策の検討（星空観察 会、ドックラン等）	【新規】 【新規】 【既存】 【既存】 【新規】	2 2 2 3 1	2 1 1 3 -
		(17) 神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作 り、関連ツアー）	【新規】	3	1
		(18) 郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐 イノシシ料理等） (18)-2 モニターツアーの開催	【既存】 【既存】	3 2	2 2
		(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	【既存】	1	1
		(20) 地域の魅力・資源の発 掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー） (20)-2 観光資源の再整理 (20)-3 地域体感ツアーの開催	【既存】 【新規】 【新規】	2 2 4	2 1 3
	IX I 新たな魅 力・資源の発掘	(21) 漁業資源の育成と活用	(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放 流）	【既存】	2	2
		(22) 特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進	【新規】	3	1
		(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催 (23)-2 そば打ち交流会の開催 (23)-3 イベントの企画・立案	【既存】 【既存】 【新規】	2 1 5	2 1 2
	X II 交流イベ ントの活発化					

【プロジェクト】

プロジェクトの分類数 : 23
プロジェクト数 : 49（うち新規：36）
うち先行プロジェクト数 : 37（うち新規：24）

※取組状況：第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会（H25.3.13）時点の取組状況

プロジェクトの着手時期

なかなかにいい	(4)-2 流域圏の連携	(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	(1)-2 接客技術の向上		
	(10)-2 クズやカスラ等の対策・駆除		(7)-1 水質の保全		
がんばれば取組める	(1)-1 人材の発掘・活用	(14)-2 レンタサイクルの実施	(12)-1 森林の利用促進	(4)-1 下流域からの支援	
	(2)-1 リーダーの育成	(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進	(15)-2 さくらおろち湖の魅力	(6)-2 ボランティア活動の実施	
	(6)-1 森林の整備・管理	(18)-1 郷土料理の継承・活用		(7)-2 ビオトープの整備	
	(8)-1 生息環境の保全	(18)-2 モニターツアーの開催		(11)-1 農地保全の仕組みづくり	
	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用	(20)-3 地域体感ツアーの開催		(16)-5 新たな活用策の検討	
取組みやすい（実施中含む）	(1)-3 教育機関との連携	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR	(19)-1 古民家の活用	(11)-2 農村景観の向上	(5)-2 フィルム・コミッションの推進
	(3)-1 企業との連携	(15)-1 湖面の利用促進	(20)-1 温泉の活用		(14)-3 サイクリングコースの改善
	(5)-1 情報発信の促進	(15)-3 釣り利用	(20)-2 観光資源の再整理		
	(9)-1 環境学習会の開催	(15)-4 利用ルールの策定・周知	(21)-1 漁業資源の創出		
	(9)-2 体験プログラムの企画・開催	(16)-1 自転車競技施設の利用促進	(22)-1 特産品の開発・販売促進		
	(10)-3 ダム湖周辺の植栽	(16)-2 農村体験施設の利用促進	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催		
	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘	(16)-4 街道・登山道の活用	(23)-2 そば打ち交流会の開催		
	(13)-2 日本プロジェクト	(17)-1 出雲神話の活用・PR	(23)-3 イベントの企画・立案		
	早期に実施すべき（1～3年） 新規プロジェクト：29 既存プロジェクト：13 全 体：42			中期に実施すべき（4～6年） 新規プロジェクト：6 既存プロジェクト：0 全 体：6	後期に実施すべき（7～10年） 新規プロジェクト：1 既存プロジェクト：0 全 体：1

先行プロジェクト
新規プロジェクト：24
既存プロジェクト：13
全 体：37

目標時期

※黒字：既存プロジェクト
赤字：新規プロジェクト

「水源地域を結び、拓く」に係るプロジェクト

「さくらおろちの魅力を磨き、活かす」に係るプロジェクト

「流域圏の恵の源を守り、育む」に係るプロジェクト